

推薦調書（実装部門）

表彰区分	市	推薦都道府県	岡山県
地方公共団体名	新見市		
取組名称	ICT教育の実践によるデジタル人材の育成		
連携自治体、企業、団体等	新見市、ソフトバンク株式会社		
デジタルを活用した取組の概要 (デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容)	(種類)	①	(左記が①の場合の分野)
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <p>○義務教育課程における先進的なICT教育を実践することにより、未来を担うデジタル人材を育成している。</p> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>○平成14年6月の旧新見市長・市議選において、全国初の「電子投票」を実施し、無効票の削減、開票時間の削減等に大きな役割を果たすなど、従来から、ICT技術を積極的に活用していた。</p> <p>○平成17年の市町合併において、新市の将来都市像を「安全・快適・情報文化都市にいみ」とし、平成20年度には、市内全域へ光ファイバケーブルを敷設する「ラストワンマイル事業」により、インターネット環境の整備が完了した。</p> <p>○教育現場において、これら情報通信基盤の積極的な利活用が求められる中、平成26年度には、市内全中学校の生徒に一人一台のタブレット端末を配備するなど、全国に先駆けて、義務教育課程におけるICT教育を導入することとし、教育現場の環境整備やICT機器の配備等、教育の情報化に取り組んでいる。</p> <p>【解決した課題の具体的内容】</p> <p>○市内全校でのICT教育の実践には、教員の負担軽減のほか、授業の効率化や内容の標準化等が課題である。</p> <p>○本市においては、授業運営支援、教材作成支援、システム及びICT関連機器の管理・運用支援を担う「ICT支援員」を積極的に配置しており、教員と相互に連携を図ることにより、本市独自のICT活用教育である「新見市スタイル」を確立している。</p> <p>○授業参加への積極性が乏しい児童生徒についても、ICT教育による回答状況等の可視化に伴い、無回答などの反応が起きにくく、全員参加の授業が展開される。</p>		

<p>デジタルを活用した取組による成果（成果がわかるデータ・数値）</p>	<p>【平成27・28年度：文科省委託事業「ICTを活用した教育推進自治体応援事業（ICT活用実践コース）」の実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒 <ul style="list-style-type: none"> ・ iPad、カメラアプリ、データの取り扱い、IWB（電子黒板）などの操作については、ほとんどの生徒が基本的な操作を身に付けている。 ・ iPadについては、78%がとまどいなく使用できている。 ○教員 <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器は95%が「活用している」または「活用したい」と回答し、90%の教員がICT支援員を有効に活用している。 ※「新見スタイル」の授業に取り組むことで、主体性、意欲・関心、知識・理解が高まり、学力や情報活用能力の向上への寄与が明らかである。 <p>【平成29年度Pepperプログラミング成果発表会（全国大会）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新砥小学校：小学校部門、金賞 ○新見第一中学校：中学校部門 銅賞 <p>【平成30年度ワールド・ロボット・サミット2018】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新見第一中学校：ジュニア競技カテゴリー・スクールロボットチャレンジ部門 第2位 <p>【平成30年度Pepperプログラミング成果発表会（全国大会）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野馳小学校：小学校部門、金賞 ○新見第一中学校：部活動部門、銀賞 ：中学校部門、銅賞
<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) ICT機器の利活用 タブレット端末等を効果的に活用した双方向の授業を行っている。 (2) オンラインによる学習保障 新型コロナウイルス感染症対策による学級閉鎖や出席停止、また長期欠席・不登校児童生徒に対し、学習保障に取り組んでいる。 (3) プログラミング教育の推進 算数・理科・技術などの教科や人型ロボット「Pepper」の活用を通じたプログラミング教育を行い、児童生徒が論理的思考力を身に付けることができる学習活動を計画的に実施している。 (4) 遠隔授業に係る研究の推進 オンラインによる交流授業や交流活動の研究をさらに深め、学校間での合同研修会や双方向授業等の研究・実践を行っている。 (5) 情報モラル教育・情報セキュリティ教育の推進 新見警察署など外部講師により、発達段階に応じて実施している。
<p>今後の展望</p>	<p>【新見市DX推進方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市におけるDXの方向性を定めた同方針では、「デジタル人材の確保育成」を取組の一つとして掲げており、引き続き、ICT教育を実践する。 <p>○具体例：令和4年度ドローンプログラミング教育推進事業</p> <p>新たに、多方面での活用が進む「ドローン」を活用した、プログラミング教育のカリキュラムを構築する。</p>

「新見市における ICT 教育」 概要



アプリカルテ（授業実践例）

- ・ 授業名、使用アプリ、教科／単元、ねらい、授業概要、効果、授業の様子、使用したワークシートなどを掲載
- ・ どれだけ興味を持って見てもらえるか、そして読んでもらえるかを第一に作成
- ・ 視覚的に見せるために、授業風景（形態がわかる）や利用したワークシートや生徒が作成したワークシートの画像を掲載
- ・ 作成については、教員に負担をかけないために、担当のICT支援員が、教員にヒアリングしつつ作成

活用事例	
【授業名】	CMVを使って自身の動きを確認しよう
【使用アプリ】	
【教科／単元(学年)】	保健体育／マット運動（第1学年）
【ねらい】	<ul style="list-style-type: none"> ・ CMVを使って自身の動きを確認させる
【授業概要】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 動画をIWBに表示し、良い例・悪い例を比較しながらCMVの使い方を説明する ・ ペアになり前転の様子を撮影する ・ 撮影した動画を手本動画と比較しながらペアで評価させる ・ 頭を付いた位置をスクリーンショットさせ、ワークシートを完成させる ・ ワークシートをDropboxに提出させる ・ 複数の生徒のタブレットPCをIWBに表示し、紹介する
【効果】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自身の動きを手本動画と比較することにより、良かった点や改善点に気付くことができた
【授業の様子】	

■ これまでの取組の概要

平成22年度(2010~11年)

- 総務省「地域雇用創造ICT絆プロジェクト(教育情報化)事業」に参画
 - ・新見市立高尾小学校
 - ▶ 1人1台のタブレット端末(全児童75名分および教員)配備
 - ▶ 普通教室へのIWBの整備(全6台)
 - ▶ 校内無線LANの整備
 - ▶ ICT支援員1名の確保・育成

平成23年度(2011~12年)

- 総務省「フューチャースクール推進事業」および文部科学省「学びのイノベーション事業」に参画
 - ・新見市立哲西中学校
 - ▶ 1人1台のタブレット端末(全生徒64名分および教員)配備
 - ▶ 普通教室・特別教室へのIWBの配備(全11台)
 - ▶ 複合機配備
 - ▶ 校内無線LANの整備
 - ▶ 専任のICT支援員1名を確保・育成

平成26年度(2014~15年)

- 新見市ICT活用教育推進事業(授業研修会の開催:市内全中学校)の開始
 - ・市内全中学校5校
 - ▶ 1人1台のタブレット端末配備
 - ▶ 普通教室・特別教室へのIWBの配備
 - ▶ 複合機配備
 - ▶ 校内無線LANの整備
 - ▶ ICT支援員2名(中学校担当)による巡回支援の開始

平成27年度(2015~16年)

- 新見市ICT活用教育推進事業(授業研修会の開催:市内全中学校)の継続
- 文科省「ICTを活用した教育推進自治体応援事業(ICT活用実践コース)」に参画
 - ▶ 中学校担当ICT支援員として新たに1名を雇用

平成28年度(2016~17年)

- 新見市ICT活用教育推進事業(授業研修会の開催:市内全中学校)の継続
- 文科省「ICTを活用した教育推進自治体応援事業(ICT活用実践コース)」に参画
- 「全国ICT教育首長協議会」に参加

平成29年度(2017~18年)

- Pepper社会貢献プログラム(スクールチャレンジ)に参加(ソフトバンク株式会社)
 - ▶ 市内全小中学校22校に98台貸与(3年間)
 - ▶ 新見市プログラミングコンテストの開催
 - ▶ Pepperプログラミング成果発表会(全国大会)への出場
 - ◀新砥小学校(1チーム)・新見第一中学校(2チーム)▶
 - ★新砥小学校:小学校部門 金賞
 - ★新見第一中学校:中学校部門 銅賞

平成30年度(2018~19年)

- Pepper社会貢献プログラム(スクールチャレンジ)
 - ▶ 市内全小中学校の6年生教室へのIWBの配備およびデジタル教科書の導入
 - ▶ 新見市プログラミングコンテストの開催
 - ▶ ワールド・ロボット・サミット2018への出場 <新見第一中学校2名>
 - ★ジュニア競技カテゴリー・スクールロボットチャレンジ部門
 - 第2位(新エネルギー・産業技術総合開発機構理事長賞)
 - 日本ロボット学会特別賞受賞
 - ▶ Pepperプログラミング成果発表会(全国大会)への出場
 - ◀野砥小学校(1チーム)・新見第一中学校(2チーム)▶
 - ★野砥小学校:小学校部門 金賞
 - ★新見第一中学校:部活動部門 銀賞
 - ★新見第一中学校:中学校部門 銅賞

平成31・令和元年度(2019~20年)

- Pepper社会貢献プログラム(スクールチャレンジ)
 - ▶ 新見市プログラミングコンテストの開催
 - ▶ Pepperプログラミング成果発表会(全国大会)への出場
 - ◀野砥小学校(1チーム)・新見第一中学校(2チーム)▶
- 小学校プログラミング教育必須化
 - ▶ 理科用プログラミング教材「MESH」の導入
 - ▶ ICT指導員1名を雇用
 - ▶ 高尾小学校 複合機更新

令和2年度(2020~21年)

- GIGAスクール構想の実現
 - ▶ 1人1台のタブレット端末配備(小学校16校新規導入・高尾小更新・哲西中更新)
 - ▶ 校内無線LANの整備(文科科学省の指針に従い、高速大容量10Gbps対応のもの)
 - ▶ 校務支援ソフトの導入
 - ▶ 新見市プログラミングコンテストの開催

令和3年度(2021~22年)

- GIGAスクール構想の実現
 - ▶ 小学校17校の3・4・5年生教室・理科室に65型IWB、多目的教室85型IWB配備
 - ▶ 哲西中学校IWB更新
 - ▶ 小学校16校(高尾小除く)に複合機新規導入
 - ▶ 哲西中学校 複合機更新
 - ▶ AI型ドリルソフト導入
 - ▶ ICT指導員1名を雇用
 - ▶ ICT指導員2名・ICT支援員3名で市内小中学校22校全校の巡回を開始)
 - ▶ 新見市プログラミングコンテストの開催

[令和3年度新見市GIGAスクール構想実現授業研修会報告書](#)